

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年には当社にとって大きな節目の年となります。

おかげさまで設立30年目を迎えることができました。

設立当時は30年目を迎えることなど考えもできない、夢のまた夢のようなことでした。

ひとえにお客様、協力業者様、社員が三位一体になって造り続けていくことができた故と皆様方への感謝の気持ちしかありません。設立当初からの社員である椿社員が定年退職を迎えるにあたり、本人から家庭の事情により昨年末で退職したいとの申し出を受け、円満退職致しました。このような事も設立当初は考えもしませんでした。

建設業界はインフレ状態が続く状況の中に置かれていますが、そんな状況だからこそ初心を持ち続けて先へ進むことが大切だと考えます。出会いを良縁となるよう、スキルアップを図るための精進をまいります。

皆様方には、感謝の意とともにより一層の幸せをお祈りいたします。

本年も、これからも、東海・ビルドグループを見守っていただけるよう、お願い申し上げます。

代表取締役 大上 功

今年も数々のプロジェクトを通してクライアント様と共に夢を追い続けていきたいと思っています。



Tokai- Build Group



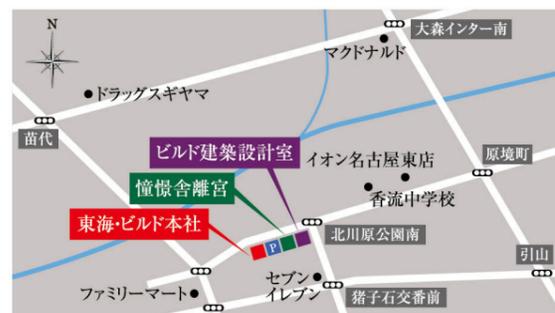
株式会社 東海・ビルド

特定建設業許可 愛知県知事(特-2)第49209号 宅地建物取引業 知事(5)第18792号 東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店
〒465-0008 名古屋市中東区猪子石原一丁目1307番地



ビルド建築設計室 株式会社

一級建築士事務所 愛知県知事登録(一-3)第14037号 一般建設業許可 愛知県知事(般-4)第110758号
〒465-0008 名古屋市中東区猪子石原一丁目1308番地



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 0120-152-421

B!-CO

Build-communication

85

2025.01



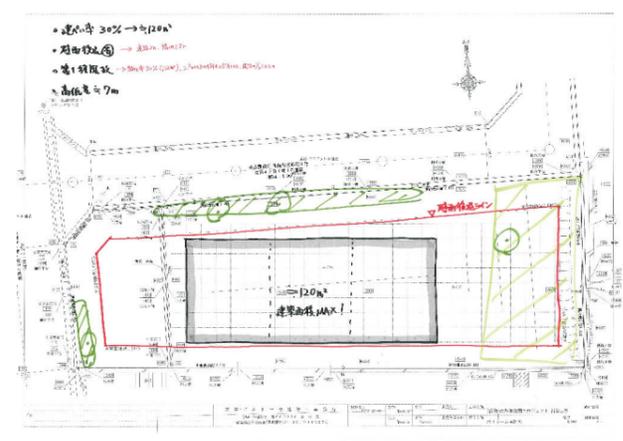
青森県立美術館



八事ヒルレジデンス PREMIUM

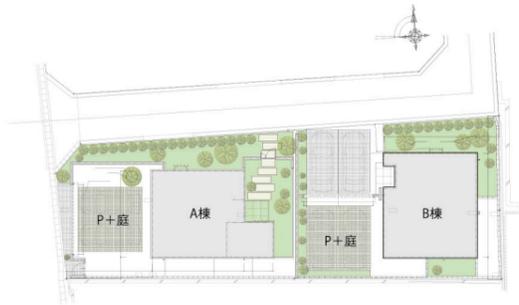
敷地条件

施主の要望は八事の閑静な高級住宅街に今までに無い賃貸を計画してほしいとの事。120坪の計画地は、北西角地、第一種低層住居専用地域、建蔽率30%、壁面後退有、第一種風致地区、宅地造成規制区域、敷地の高低差は7m。



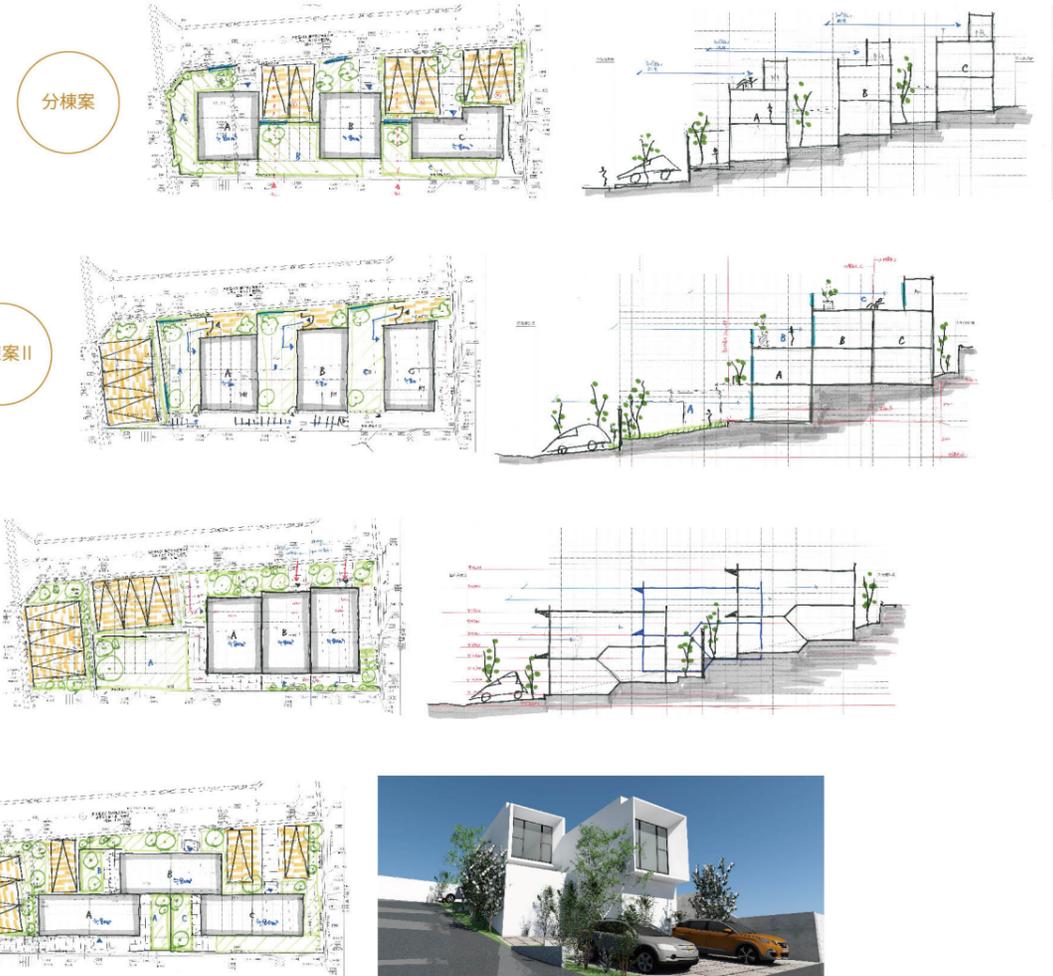
最終案の戸建て賃貸 2棟

住戸数を2世帯にしぼって専有面積を増やし、一戸建て住宅として完全に独立させた。道路の高低差を活かし、地下1階にビルトインガレージを持ち合計4台の車を駐車することができるA棟。7mの高低差のある敷地の丘の上に建つことで、屋上ルーフガーデンからの眺望を獲得したB棟。この敷地の特性を活かした新しい賃貸建築が完成した。



初期構想

3世帯を分棟にした戸建て賃貸や、1棟にまとめた長屋、スキップフロアの案などを平面・断面で検討。



共同住宅案

壁面後退ラインに沿ってコンクリートの外壁で囲い、その中に屋内と屋外を振り分け、道路と反対側の屋外共用階段で各住戸をつないだ共同住宅案。2LDK×2戸、1LDK×1戸と住戸の大きさにメリハリをつけた案。最終形の「駐車場と庭」のアイデアが生まれたプラン。



【物件概要】

所在地 / 名古屋市昭和区広路町字梅園65番1
 設計 / ビルド建築設計室株式会社
 施工 / 株式会社東海・ビルド
 用途 / 一戸建ての住宅(賃貸)
 A棟: 2LDK+インナーガレージ2台
 B棟: 2LDK+屋上テラス
 構造 / A棟: 混構造 地下1階地上2階建
 B棟: 木造 地上2階建
 敷地面積 / A棟: 204.45㎡ B棟: 200.53㎡
 建築面積 / A棟: 57.44㎡ B棟: 59.94㎡
 延床面積 / A棟: 156.74㎡(ガレージ含)
 B棟: 125.56㎡(ペントハウス含)
 工事期間 / 2023年12月~2024年8月

【敷地条件】

都市計画区域 / 市街化区域
 建蔽率・容積率 / 30%・100%
 用途地域 / 第一種低層住居専用地域

【主な仕様】

SECOM静脈認証オートロック
 宅配ボックス(住戸専用ボックス)
 EV充電設備、ガス乾燥機
 システムキッチン、
 LDK床暖房、
 全室エアコン完備

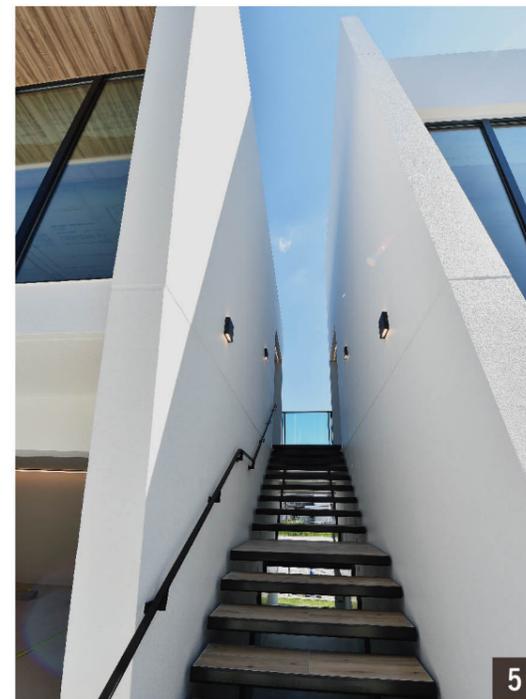
八事ヒルレジデンス
 PREMIUM
 プロモーション
 MOVIE



couleurs BOIS

計画地はイオンモール長久手の道を挟んだ向かいの敷地。イオンモール長久手のある東側は幅員10mの歩行者専用道路、西側は幅員33mの道路に面していて、道路間口21m、奥行20mという正方形に近い127坪の平坦な敷地に建つ貸店舗の計画。長久手市の条例により必要な駐車台数と店舗面積の制約から、店舗面積50㎡×4店舗、駐車場3台×4店舗が今回の計画地でのMAXボリュームとなった。

1階はピロティ駐車場とし、店舗は2階へ。変化を付けた東西のファサードが人の目を惹く。



愛知県長久手市勝入塚206番、207番

- 1 西側道路からの外観屋景。壁面緑化されたイオンモール長久手を背景に、白と木目の外壁が映える。
- 2 各テナントの内部はスケルトン仕上げ。一面がガラス張りのため、1つのテナントから向かいの2つのテナントを望むことができる計画(内装工事は別途)。
- 3 東側のテナントは屋上ルーフガーデンがある。奥にはリニモの長久手古戦場駅が望める。
- 4 2つのテナントの隙間は屋外のストリップ階段。こちらから各テナントへアクセスする。
- 5 各テナント棟を正面から見たアングル。東西の建物で統一感と変化を持たせた。
- 6 各テナント棟を正面から見たアングル。東西の建物で統一感と変化を持たせた。

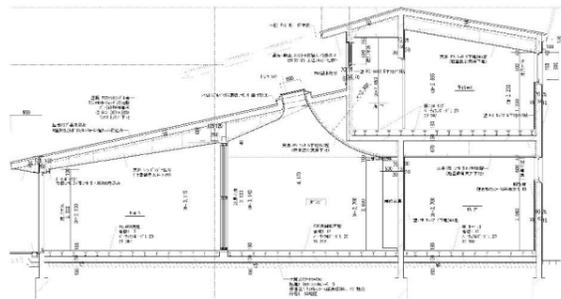
設	計 / 東海・ビルド
施	工 / 株式会社東海・ビルド
構	造 / 鉄筋コンクリート造 2階建
敷	地 面 積 / 420.69㎡ (127.26坪)
建	築 面 積 / 230.46㎡ (69.71坪)
延	床 面 積 / 403.04㎡ (121.91坪)

D-House

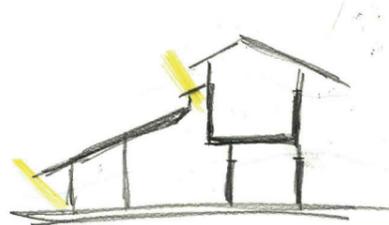


建築は断面から発想する

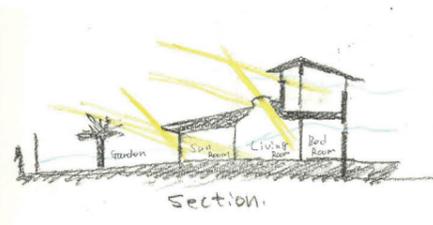
どんな建築も設計の初期段階はひたすら断面を検討する。“間取り”だけに集中することは平面（2次元）でしかものを考えていないということ。建築は、空間は、美しい断面であることで初めてきれいな3次元に立ち上がる。この段階で庭と一体に過ごせる家をこの断面で導き出した。同時に庭から離れた室内に光を落とすトップライトの位置と取り入れた光を拡散する天井形状をスタディする。庭屋一如は断面図が実現する。



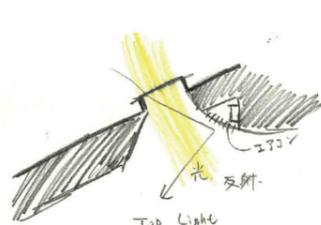
断面図



初期段階スケッチ



最終段階スケッチ

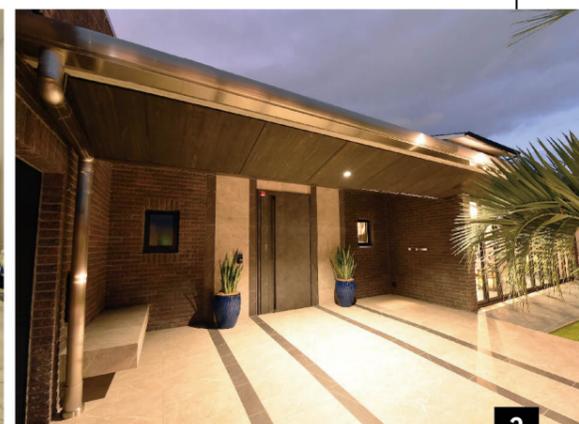


トップライト断面



2

当社の協力業者である三島建具様よりご紹介をいただいて始まったプロジェクト。施主であるY様ご夫妻のイメージは明確で、施主の感性と東海・ビルドの感性が建物を研ぎ澄ませてゆく。関ヶ原石材の会長とY様が懇意にされている縁もあり、内装には石材がふんだんに使用された。



3

1 リビング 断面図

勾配天井にトップライト。ここからの光を拡散して室内に広げるため、円柱の一部を切り取った天井が勾配天井につながる。この円柱天井内は2階の廊下。

2 サンプルーム

一見丸テーブルに見えるバーベキュー台が置かれ、庭と繋げるための全開口サッシを採用。すべて開放すると庭↔サンプルーム↔リビングが一体化する。

3 玄関 外・内

重さを表現したスラブタイルの扉を開けるとブックマッチ貼りの石の壁、石の床が迎える。この石の床はリビングダイニングの大空間につながる。

4 外観

高い天井という要望を受け、外から内にせりあがってゆく天井を設定、この形がそのまま屋根形状を決めた。外壁のタイルは組積造を再現する。張り方にこだわったのは設計者側。

4

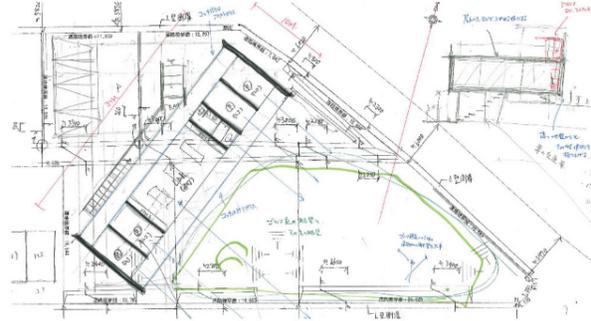
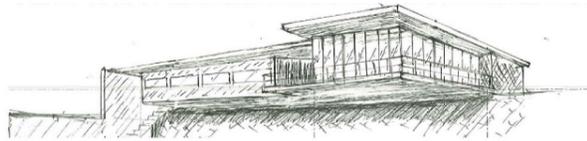


東京、青山でショールームを巡って超一流の家具に触れ、五反田の東京デザインセンターで悩んでいたダイニング照明の正解を見つけたり、幾度となく関ヶ原石材に現物確認にでかけたりと良い経験を積ませていただいたこと、心より感謝いたします。

住宅

整えられた自然に、住宅を無造作に載せる。

宅地開発中の土地に別荘を建てるご依頼をいただいた。自然の山を切り開き、規則的に整備された階段状の造成地。そこにシンプルな箱、文字通り箱のような洗練された住宅を無造作に載せる。これが基本的な構想である。全面ガラス張りの大開口からは、丘陵地の頭を超えた先に歴史ある市街地が見渡せる。



唯一無二のプランを創造中・・・。
— 物創りの根幹にある物語 —

住宅

MIAGERUIE

北西角地の85坪の敷地にRC造の事務所併用ガレージハウスの計画。南は3階建てのアパート、東は3階建ての店舗付き住宅に囲まれている。2階のLDKは北側に42㎡もあるルーフバルコニーを設け、北側の道路向かいの建物が見えない高さまでバルコニー手摺壁を立ち上げた。これにより開放的であり、安心感のあるLDK空間が出来上がる。



BA ミュージアム 2025年3月中旬頃本社隣にオープン予定!

東海・ビルドグループが大事にしている物創りの核となる想い。「感性」(クライアント)×「感性」(ビルド建築設計室)の融合”。当グループはこの想いを軸に、クライアントと共に唯一無二の建築を数多く創り上げてきた。これらの背景には、クライアントとビルド建築設計室との様々なストーリーがある。これまでHPやSNSでは伝えきれなかった「物創りの根幹にある物語」、 「設計士の理論」、そして「ビルド建築設計室の価値観」を体験できる「BA MUSEUM」が誕生する。



18年を経て

I様邸

住宅を新築させていただき、18年が経過した今も良いご縁を保ち続けているI邸。引き渡し後、I様ご夫妻の手により止まらぬ進化を続けている。B!-c 史上初となる「その後」レポート。



竣工時



現在



竣工時

現在

玄関。壁の色も変わっているが、右の下駄箱が外されて正面に新たに設置されている。



現在



現在

LDKリビングより。この差はすべてI様ご夫妻によってもたらされた。



竣工時

LDKキッチンより。家具もすべて手作り。奥には薪ストーブが置かれた。



竣工時



右からI奥様、設計森、企画室松岡。ここにI旦那様が加わってTeam I。



←この子、最近Team Iに加入しました。

取材中、当時3歳であったご息子が帰宅。「今、21歳です。」また、ご息女は当社で設計施工した賃貸マンションの空室を待つて入居されている。いただいた良いご縁が末永く、できれば次の世代も続きますように。



詳細はこちらから

2024年社員建築研修旅行 ④ 青森

2024/11/8~11/10

撮影：当社代表 大上 功



国際芸術センター青森（設計：安藤忠雄）



十和田市現代美術館



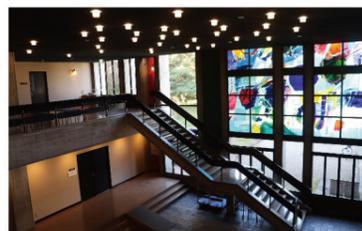
国際芸術センター青森



国際芸術センター青森



弘前れんが倉庫美術館



弘前市民会館



十和田市現代美術館

旅行
十和田市民図書館・十和田市現代美術館・十和田市地域交流センター・十和田市交流プラザ
三沢老人ホーム改築工事現場・三沢（泊）・国際芸術センター青森・ワ・ラッセ・A-factory他市内散策
青森県立美術館・三内丸山遺跡縄文時遊館・青森（泊）・弘前れんが倉庫美術館・弘前こぎん研究所
弘前市役所・弘前市民会館・弘前市博物館・弘前城・弘前緑の相談所・藤田記念庭園・弘前市斎場

3日間、相変わらず息つく暇のないスケジュールで20件程の建築を見て歩きました。三沢市の当社の現場も順調に仕上がって来ていて、ホッとしました。青森の現代建築から弘前の前川國男モダニズム建築まで、ほぼ全社員が参加しての研修旅行ですが各自感じたものを今後の東海・ビルドの建築に込めてくれることと信じます。

語りたくなる住まい。

長久手市塚田

2025.3/12(水)~15(土)

完全予約制

N-prince長久手

●敷地面積:900.65㎡(272.44坪)●用途地域:第一種住居地域60%/200%●法規制:法22条区域●構造:鉄筋コンクリート造●階数:11階建●施工床面積:2,633.96㎡(796.77坪)●間取り:テナント156.85㎡(1軒)、1LDK47.71㎡(4戸)、2LDK71.22㎡(8戸)、3LDK83.27~90.22㎡(10戸)計22戸



長久手市塚田1310



上質な暮らし。上質な賃貸。

名古屋市千原区

2025.3/19(水)~22(土)

完全予約制

Le carré Noritake

●敷地面積:262.99㎡(79.55坪)●用途地域:商業地域80%/400%●法規制:準防火地域●構造:鉄筋コンクリート造●階数:10階建●施工床面積:1,500.40㎡(453.89坪)●間取り:1LDK41~75.81㎡(5戸)、2LDK65.85~75.81㎡(5戸)、3LDK107.92㎡(1戸)、メゾネット3LDK148.92~157.81㎡(2戸)計13戸



名古屋市千原区千原町2-31



2024チャリティーイベント報告

秋の高山祭(10月9日・10日)に合わせ「惣四郎」にてイベントを開催いたしました。



9日は津軽三味線のデュオとクラシックピアノ奏者で結成された和風ハイブリッドユニット「陽影月」によるフリーライブを、10日は京都の椿堂茶舗5代目茶師 武村龍男氏による煎茶道のお点前を行うチャリティーイベントを開催いたしました。チャリティーイベントの売上金は「令和6年能登半島地震義援金」へ高山市を通じて寄付させていただきました。本イベントにご協力いただいた方々に深くお礼を申し上げます。

「惣四郎」が保養施設としてだけでなく、情報発信の場や地域貢献の場として活用いただけてとても嬉しく思います。今年のワンコインハートもどうぞよろしくお願いたします。